

令和2年度 第5回大島区地域協議会  
「出張地域協議会」  
次 第

日 時：令和2年10月30日（金）  
午後6時30分から  
場 所：大島生活改善センター  
1階 大集会室

開 会

1 報 告

(1) 「公の施設の再配置計画」の策定について

別紙1

(2) 令和2年度地区要望の状況について

資料No.1

(3) 大島区の主な施設の決算状況について

資料No.2

2 その他

(1) 令和2年度「大・浦・安」地域協議会委員研修会について

(2) 第6回地域協議会の開催日について

【開催日：\_\_\_月\_\_\_日、開催時間：\_\_\_時から】

(3) その他

閉 会

【意見交換会】



## 【再配置】

施設名	施設カテゴリー		今後の方向性(案)		完了 年度	計画期間中のスケジュール										備考	
			説明			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
大島保健センター	14	保健センター	廃止	大島保健センターは、他施設で保健事業を実施できることから、令和2年度から休止し、補助金の処分要件を精査し、廃止する。	R5	休止中	⇒	廃止									
大島あさひ荘	24	日帰り温浴施設	廃止	平成27年から休止しており、温浴施設としての活用が見込めないことから、補助金の処分要件を精査し、廃止する。	R4	休止中	廃止										
大島農業実習交流センター	29	農林水産業振興施設	貸付又は譲渡	地域団体の利用が主であることから、当該利用団体へ貸付又は譲渡する。	R3	貸付又は譲渡											
あさひの里田麦ぶなの森園	31	市民の森	廃止	維持管理経費と利用実態を踏まえ、普通財産化し、地縁団体等を通じた利活用を図る。	R4	継続	廃止										
大島堆肥センター	36	産業関連施設(その他)	貸付又は譲渡	平成16年度から休止しており、利用意向のある地域団体に貸付又は譲渡する。	R6	休止中	⇒	⇒	貸付又は譲渡								
大島ゆきわり荘	50	貸館・交流施設	廃止	利用者が限定的であり、隣接地の貸館施設と機能が重複することから廃止する。	R3	廃止											
大島地域生涯学習センター	46	生涯学習センター	貸付又は譲渡	特定の地域住民に利用が限られることから、地域団体へ貸付又は譲渡する。	R7	継続	⇒	⇒	⇒	貸付又は譲渡							

## 令和2年度 地区要望の状況について

地区	内 訳	要望件数			備 考
		計	新規	継続	
菖蒲地区	市関係	8件	3件	5件	【現地確認】 令和2年8月12日（水）実施
	県関係	4件	0件	4件	
大島地区	市関係	18件	5件	13件	【現地確認】 令和2年8月12日（水）実施
	県関係	18件	5件	13件	
保倉地区	市関係	24件	3件	21件	【現地確認】 令和2年8月11日（火）実施
	県関係	3件	0件	3件	
旭地区	市関係	9件	4件	5件	【現地確認】 令和2年8月11日（火）実施
	県関係	1件	1件	0件	
計	市関係	59件	15件	44件	
	県関係	26件	6件	20件	
合 計		85件	21件	64件	

○要望箇所現地確認：市対応者

\*浦川原区総合事務所

- ・建設グループ：渡辺グループ長ほか担当者
- ・産業グループ：山本グループ長ほか担当者

\*大島区総合事務所

- ・小林所長、山崎次長、春谷班長

## 令和2年度:各地区要望状況(市 関係)

【地区名】: 菖蒲地区

No	関係町内	要望内容	新規・継続	所管
1	牛ヶ鼻	市道下向線側溝敷設	継続	建設G
2	菖蒲西	市道菖蒲西中央線、西沖線、下山線及び西沖支線舗装修繕	継続	建設G
3	牛ヶ鼻	市道小高岩線路肩改良及び舗装修繕等	継続	建設G
4	牛ヶ鼻	市道下向線及び沖ノ鼻線舗装修繕	継続	建設G
5	菖蒲東	市道仲原線道路舗装修繕	新規	建設G
6	菖蒲東	道路舗装修繕	新規	建設G
7	菖蒲西	堀切川の河川改修	継続	建設G
8	菖蒲西	菖蒲西中央線水路修繕	新規	建設G
	計	8件	新規 3件	

## 令和2年度:各地区要望状況(県 関係)

【地区名】: 菖蒲地区

No	関係町内	要望内容	新規・継続	所管
1	菖蒲東	国道405号側溝グレーチング蓋等設置	継続	建設G
2	菖蒲西	国道405号の排水路修繕	継続	産業G
3	菖蒲西	国道405号の雪崩防止対策	継続	建設G
4	菖蒲東	県道菖蒲高原線見晴らし台付近の景観整備 (菖蒲高原地内)	継続	建設G
	計	4件	新規 0件	

## 令和2年度:各地区要望状況(市 関 係)

【地区名】:大島地区

No	関係町内	要望内容	新規・継続	所管
1	三竹沢	市道三竹沢中央線舗装修繕	継続	建設G
2	三竹沢	市道池の俣線L型側溝修繕(L=3.0m)	新規	建設G
3	熊田	上之山土水路改修	継続	建設G
4	熊田	上之山排水路 集水柵とU字溝入替	継続	産業G
5	熊田	カジヤシキ山排水路U字溝修繕	継続	産業G
6	仁上	土砂流失防止策(横前沢地内)	継続	産業G
7	仁上	仁上峠線集水柵の改良(横前沢)	継続	産業G
8	仁上	仁上大橋の高欄改修	継続	建設G
9	仁上	農免道三竹沢線向田橋舗装修繕	新規	産業G
10	仁上	市道岩原線道路横断グレーチング側溝修繕	新規	建設G
11	仁上	市道岩原線舗装修繕	新規	建設G
12	石橋	市道石橋行野線修繕	新規	建設G
13	大島	大島生活改善センター玄関バリアフリー化	継続	産業G
14	大島	大島生活改善センター小集会室の畳入替、ブラインド取付け	継続	産業G
15	大島	大島生活改善センター軒天補修	継続	産業G
16	地区	大島地域生涯学習センター駐車場の舗装、花壇の撤去	継続	教育・文化班
17	地区	ほたる橋の塗装	継続	産業G
18	地区	ほたる公園散策路の照明器具修繕	継続	産業G
	計	18件	新規 5件	

## 令和2年度:各地区要望状況(県 関 係)

### 【地区名】:大島地区

No	関係町内	要望内容	新規・継続	所管
1	熊田	水害防止対策(熊田三叉路)	継続	建設G
2	熊田	ホタル水路の水漏れ補修	継続	建設G
3	仁上	土砂流出防止対策工事(高源寺裏の大久保川)	継続	建設G
4	仁上	不動越地すべり地区用排水路改修(山田地内:2箇所)	継続	産業G
5	仁上	不動越地すべり地区用排水路修繕・U字溝敷設(不動越地内)	継続	産業G
6	仁上	不動越地すべり地区排水路落差工及びU字溝改修(川入地内)	継続	産業G
7	仁上	不動越地すべり防止工事の排水路の変更	新規	建設G
8	石橋	栃山川の河川改修	継続	建設G
9	石橋	保倉川(左岸)の改修工事	新規	建設G
10	棚岡	保倉川の護岸改修(堂の久保地内)	継続	建設G
11	棚岡	沢入川護岸改修	継続	建設G
12	棚岡	保倉川堆積石の撤去 (かまぶた用水取水口付近から棚岡橋までの区間)	新規	建設G
13	棚岡	保倉川棚岡橋下流の流出テトラポットの撤去	新規	建設G
14	棚岡	沢入川の柳等の伐採(保倉川合流地点)	新規	建設G
15	大島	北屋敷沢砂防工事(共同墓地裏)	継続	産業G
16	大島	築堤工事(金沢地内)	継続	産業G
17	大島	保倉川右岸立木伐採	継続	建設G
18	中野	国道403号の側溝改修	継続	建設G
	計	18件	新規 5件	

## 令和2年度:各地区要望状況(市 関 係)

【地区名】:保倉地区

No	関係町内	要望内容	新規・継続	所管
1	上達	市道上達細野線側溝改良	継続	建設G
2	上達	市道上達細野線路肩修繕(上達会館から約30m先)	継続	建設G
3	上達	市道上達細野線道路拡幅整備	継続	建設G
4	細越	水路集水柵の改修	継続	建設G
5	細越	市道大新田線の水路改修	継続	建設G
6	細越	市道西山線側溝改修	継続	建設G
7	細越	市道(赤道)拡幅整備、冬期除雪	新規	建設G
8	達	農免農道糶山線(花壇ブロック撤去)	継続	産業G
9	達	モグラ沢護岸改修	継続	産業G 建設G
10	達	市道達居村線法面改修	継続	建設G
11	達	モグラ沢法面改修(防火水槽付近)	継続	産業G 建設G
12	達	市道達中央線舗装全面改修	新規	建設G
13	大平	市道大平上村線段差等の修繕	継続	建設G
14	大平	市道東頸城幹線沿い立木及び枝の伐採	継続	建設G
15	大平	市道大平岩栗線のコンクリート舗装修繕	継続	建設G
16	大平	市道梨ノ木線道路改良	継続	建設G
17	大平	小野沢水路修繕	継続	建設G
18	大平	市道川原田線支線道路補修	新規	建設G
19	上岡	市道宮ノ崎線側溝流末修繕(改良)	継続	建設G
20	上岡	市道宮ノ崎線法面改良等(雪崩防止)	継続	建設G
21	上岡	市道梨ノ木線のガードケーブル支柱復元修繕	継続	建設G
22	千原	千原橋欄干の整備	継続	建設G
23	千原	市道宮ノ崎線側溝流末修繕	継続	建設G
24	千原	市道梨ノ木線の改修	継続	建設G
	計	24件	新規 3件	



## 令和2年度:各地区要望状況(県 関 係)

【地区名】:保倉地区

No	関係町内	要望内容	新規・継続	所管
1	細越	県道上越安塚柏崎線の細越地内歩道に係る凍結防止対策	継続	建設G
2	細越	保倉川川底堆積土砂移動(西山橋上流左岸)	継続	建設G
3	長者島	保倉川護岸整備(下岡橋下流左岸)	継続	建設G
	計	3件	新規 0件	

## 令和2年度:各地区要望状況(市 関 係)

【地区名】:旭地区

No	関係町内	要望内容	新規・継続	所管
1	田麦	自動車ポンプ置場(大島方面隊第1分団第1部)の新築	継続	総務班
2	田麦	市道田麦下村線側溝の蓋設置	継続	建設G
3	田麦	市道田麦角間線コンクリート舗装	継続	建設G
4	田麦	旭農村環境改善センターの屋根塗装	継続	産業G
5	板山	市道上ノ山線コンクリート舗装	新規	建設G
6	藤尾	林道高所線グレーチング設置	新規	産業G
7	田麦	市道下村線雪崩防止、段切り	継続	建設G
8	田麦	庄屋の家駐車場側溝修繕	新規	建設G
9	竹平	市道小貫線法面の雑木枝伐採	新規	建設G
	計	9件	新規 4件	

## 令和2年度:各地区要望状況(県 関 係)

【地区名】:旭地区

No	関係町内	要望内容	新規・継続	所管
1	藤尾	県道大湯高柳線防護柵の設置について	新規	建設G
	計	1件	新規 1件	

(単位：千円)

決算書 (P232～P235)	4款1項5目 診療所費	所管課等	地域医療推進室 (令和元年度所管は健康づくり推進課 地域医療推進室)
事業名	大島診療所管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
35,980	32,129		3,635		28,494 (使用料ほか)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,851				3,851	

## 【目的】

大島診療所を運営し、大島区における地域住民の健康保持・増進及び医療不安の軽減を図るとともに、市内の病院との連携により地域医療を確保する。

## 令和元年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

名称	大島診療所
位置	上越市大島区棚岡 1540 番地 1
運営方式	直営
診療日	毎週月曜日から土曜日まで(水・土曜日は午前のみ)
診療科目	内科、外科、小児科

## ・診療日数及び延べ患者数

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			計画	実績
診療日数(日)	293	292	293	292
延べ患者数(人)	3,914	3,922	3,693	3,771
1日平均(人)	13.4	13.4	12.6	12.9

決算書 (P 232～P 235)	4 款 1 項 5 目 診療所費	所管課等	地域医療推進室 (令和元年度所管は健康づくり推進課 地域医療推進室)
事業名	大島診療所管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
				予 算	実 績	
①収入	使用料及び手数料	49,547	45,376	42,946	43,659	
	県支出金	-	-	-	3,635	
	諸収入	3,095	3,307	3,558	3,104	
	合 計	52,642	48,684	46,504	50,398	
②支出	報酬	1,595	1,618	1,668	1,663	
	共済費	222	226	232	206	
	旅費	142	142	147	146	
	需用費	医薬材料費	26,065	22,558	25,205	23,927
		その他	2,140	1,236	1,985	1,526
	役務費	676	601	710	670	
	委託料	2,703	3,013	3,552	2,887	
	使用料及び賃借料	1,788	1,464	2,202	827	
	備品購入費	-	378	-	-	
	負担金	224	231	244	243	
	公課費	25	-	35	34	
合 計	35,580	31,466	35,980	32,129		
③公費投入額 (②-①)		△17,062	△17,218	△10,524	△18,269	

※正規職員 4 人 (医師 1 人、看護師 2 人、事務 1 人) の人件費 41,017 千円は、4 款 1 項 1 目の保健衛生総務費職員人件費に計上

※端数処理のため、合計とその内訳が一致しない場合がある。

【事業の成果】

大島診療所を運営することにより、地域住民が安心して受診できる診療体制を確保し、地域住民の健康保持・増進及び医療不安の軽減を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

患者数は少ないものの、引き続き地域住民の医療不安の軽減に向けて、継続的な医療環境を確保する必要がある。

【執行残額について】

○その他

- ・当初見込んだ患者数を下回ったことに伴う医薬材料費、診療機械借上料等の残 2,952
- ・光熱水費や電話料金等が見込みを下回ったことによる残 899

(単位：千円)

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島ゆきわり荘管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,324	2,215				273 (使用料 譲収入)	1,942
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	109			36	73	

## 【目的】

地域の農林産物の特産品づくりにおける研修や地域振興のための会議、交流活動の場を提供することで、農業を通じた市民の生活文化の向上を図る。

## 令和元年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・大島ゆきわり荘の維持管理及び運営

所在地	大島区大平 3874 番地 1
設置	平成 9 年度
構造	鉄骨造 2 階建
面積	498.30 m <sup>2</sup>
管理	直営 (業務委託)

## ○施設の管理実績

- ・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	1,748 人	931 人	-	835 人

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島ゆきわり荘管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	使用料収入	65	52	59	52
	その他	219	219	229	221
	合計	284	271	288	273
②支出	施設維持管理費	2,114	2,275	2,324	2,215
	うち委託料	766	766	889	853
	その他	-	-	-	-
	合計	2,114	2,275	2,324	2,215
③公費投入額(②-①)	1,830	2,004	2,036	1,942	
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)	1,047	2,153	-	2,326	

【事業の成果】

- ・農産加工品(味噌・麴)づくりの場を提供することにより、地域住民の生きがいや地元農産物の活用等、地域の活性化が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・冬期間の味噌や麴づくり、サークル活動等で一定の利用者はあるが、地域の過疎・高齢化により利用減が続いていることを踏まえ、今後の施設の在り方について、検討していく必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 36  
委託料(36)
- ・その他：燃料費、光熱水費等の実績が当初の見込みを下回ったため 72  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島農業実習交流センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,425	1,068				476 (繰入)	592
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	357			3	354	

## 【目的】

花や野菜の栽培方法や稲作栽培などの農作業体験の拠点施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

## 令和元年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・大島農業実習交流センターの維持管理及び運営

所在地	大島区牛ヶ鼻 2649 番地
設置	平成7年度
構造	鉄骨造2階建
面積	302.58 m <sup>2</sup>
管理	直営(業務委託)

## ○施設の管理実績

- ・利用者数等

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	5,062人	5,037人	-	5,073人

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島農業実習交流センター管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	429	436	488
	合計	429	436	488
②支出	施設維持管理費	1,219	1,198	1,425
	うち委託料	442	442	597
	その他	-	-	-
	合計	1,219	1,198	1,425
③公費投入額(②-①)	790	762	937	592
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)	156	151	-	117

【事業の成果】

- ・農業体験等の受入れにより、地域住民の交流促進に寄与した。
- ・地域住民に対する栽培技術向上のための花や野菜づくり等の栽培指導会を実施したことで、地域に貢献することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用実態を踏まえた地域団体等との協議を行い、今後の施設の在り方を検討していく必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 3  
修繕料(3)
- ・その他：委託料、燃料費、光熱水費等の実績が当初見込みを下回ったため 353  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1



# 出資法人等経営状況報告書

## 1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和2年8月25日	担当部署	農林水産部 農政課
-------	-----------	------	-----------

※以下は令和2年3月31日現在の内容です。

## 2 法人等の概要

法人名	公益財団法人 大島農業振興公社		
代表者	理事長 高橋 三登一		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市大島区牛ヶ鼻2649番地		
設立年月日	平成6年3月7日		
基本金	51,000千円	市出捐割合	98.0%
設立目的	上越市大島区における農業の担い手育成、農作業の支援等を行うことにより、中山間地域の農業生産の維持並びに農地の効率的利用を図り、もって地域農業の振興に寄与することを目的とする。		
主な事業	(1) 農業の担い手の育成に関する事業 (2) 農作業の支援に関する事業 (3) 農用地の保全に関する事業 (4) 前3号に掲げる事業に関する情報の収集及び提供に関する事業 (5) 農地の有効利用及び効率的な使用を促す農地の貸し借り等権利調整に関する事業 (6) 技術習得等を目的とした研修等事業 (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業		

## 3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
理事	1	6	7	7	0	0
監事	0	2	2	2	0	0
計	1	8	9	9	0	0

## 4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	4	4	0
その他	0	0	0
計	4	4	0

## 5 事業実績（概要）

米の収穫量の増加に伴う売上の増加により、事業収益は1,320千円増加の52,202千円となりましたが、暖冬少雪による除雪作業収益の減や、補償金（平成30年度の干ばつ被害に伴う水稲共済）の減により、経常収益は前期比1,469千円減（2.4%減）の59,676千円となりました。

この結果、当期一般正味財産増減額は前期比1,803千円減の△1,707千円となり、最終的に正味財産は前期比357千円減の86,777千円となりました。

### ○農作業支援事業

農業従事者の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の発生防止のため、次の事業を行いました。

#### ・基幹農作業受託事業

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	受託面積	受託面積	受託面積
耕うん	9.0 ha	5.4 ha	5.7 ha
代かき	11.0 ha	9.9 ha	7.3 ha
田植	6.8 ha	7.0 ha	6.0 ha
刈取	13.2 ha	10.0 ha	9.1 ha
延べ面積	40.0 ha	32.3 ha	28.1 ha

#### ・農地集積及び農地借入れによる農業経営

担い手への農地集積を推進するとともに、受け手がない農地については公社自らが担い手となり管理耕作しました。

生産した米は、「おおしま育ち」の名称で全国各地へ販売しました。品質・安全性等の面で好評を得るも、販路が固定化し減少傾向にあります。

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
借入面積	40.3 ha	37.7 ha	33.3 ha
公社耕作面積 (水稲作付面積)	20.9 ha (14.8 ha)	21.6 ha (15.3 ha)	21.9 ha (15.7 ha)
水稲収穫量 (10a当たり収量)	59 t (6.7 俵)	51 t (5.5 俵)	70 t (7.4 俵)

### ○園芸事業

#### ・花苗生産

上越市との契約及びJAえちご上越の協力により、温室2棟を活用し花苗の生産を行いました。

#### ・農産物生産

自然薯やその他野菜の栽培に取り組んでいますが、将来的な安定収入を目標として重点的にアスパラガスの栽培に取り組みました。

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
花苗生産（千円）	5,069	4,889	4,590
野菜生産等（千円）	3,829	5,170	4,291
合計（千円）	8,898	10,059	8,881

### ○大島農業実習交流センター管理事業（市からの業務受託）

### ○地域マネジメント組織の事務を支援

集落を超えて連携し、地域の課題に取り組む組織の支援（中山間地域等直接支払交付金など）を行いました。大島区農業振興会（16支部）、多面的機能支払（14組織）

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項目		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
		自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日	自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部			
	経常収益	63,504	61,145	59,676
	基本財産運用益	5	5	5
	特定資産運用益	0	0	0
	受取会費	0	0	0
	事業収益	55,371	50,882	52,202
	受取補助金等	7,709	6,350	6,924
	その他経常収益	419	3,908	545
	経常費用	63,838	62,349	61,383
	事業費	62,181	60,740	59,768
	管理費	1,657	1,610	1,615
	当期経常増減額	△334	△1,204	△1,707
	経常外収益	630	1,300	0
	経常外費用	0	0	0
	当期経常外増減額	630	1,300	0
	税引前当期一般正味財産増減額	296	96	△1,707
	法人税等	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	296	96	△1,707
	一般正味財産期首残高	34,267	34,563	34,658
	一般正味財産期末残高	34,563	34,658	32,951
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	△570	△570	1,350	
指定正味財産期首残高	53,615	53,045	52,475	
指定正味財産期末残高	53,045	52,475	53,825	
正味財産期末残高	87,608	87,134	86,777	
項目		平成 30 年 3 月 31 日現在	平成 31 年 3 月 31 日現在	令和 2 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資産	100,983	100,220	98,030
	負債	13,375	13,087	11,254
	正味財産	87,608	87,134	86,777
	指定正味財産	53,045	52,475	53,825
一般正味財産	34,563	34,658	32,951	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

## 7 市からの財政支出等

### (1) 委託額 (税込)

(単位：千円)

内訳		平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
①	農業実習交流センター委託	400	340	159	
②	除雪作業委託	3,647	3,724	3,157	
③	温室除排雪作業委託	1,056	1,063	204	
④	公共花壇等管理運営業務委託	6,723	6,489	6,582	
⑤	公共用地等除草業務委託	-	-	-	
計		11,826	11,616	10,102	

### (2) 財政援助額 (税込)

(単位：千円)

内訳		平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
①	補助金 (助成金)	3,140	3,070	3,180	運営費補助金
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他 ( )	0	0	0	
計		3,140	3,070	3,180	

## 8 今後の経営計画等

### (1) 次期事業計画

設立当初の基本理念及び定款に定める目的に基づいた事業展開を行い、また、関係機関との連携を図り、農政活動や地域農業への支援体制を強化するとともに、公社自身の経営の健全化及び財政的な自立に向けた努力を継続し、地域農業を支える公社機能の充実に努める。

項目	令和2年度計画	令和元年度実績
農作業支援事業 (農作業受託事業)	28.8 ha	28.1 ha
地域農業活性化事業 (管理耕作分)	12.0 ha	15.7 ha
花苗生産	4,617 千円	4,590 千円
野菜生産等	3,266 千円	4,291 千円
植栽管理	2,925 千円	3,179 千円
マネジメント事業	5,724 千円	5,149 千円

### (2) 中長期経営計画

なし

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,845	6,809					6,809
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	36			17	19	

## 【目的】

森林の有する幅広い効用を活用するとともに、野外での交流等の場を提供することにより、地域住民の連帯感の醸成及び市民の健康増進を図る。

## 令和元年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和元年度目標

- ・施設利用者数 2,900人

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

名称	菖蒲高原緑地休養広場
位置	大島区菖蒲 2962 番地 1
設置目的	森林の有する幅広い効用を活用するとともに、野外での交流等の場を提供することにより、地域住民の連帯感の醸成及び市民の健康増進並びに農林業者の就業機会の拡大に寄与する。

## ・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	菖蒲高原管理運営組合
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

## ○施設の管理実績

## ・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	2,788 人	2,715 人	2,900 人	2,990 人
宿泊者数	792 人	713 人	-	659 人
日帰り者数	1,996 人	2,002 人	-	2,331 人

決算書 (P274～P275)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,290	6,290	6,137	6,137
	管理運営委託料以外の経費	589	521	708	672
	合計	6,879	6,811	6,845	6,809
③公費投入額(②-①)		6,879	6,811	6,845	6,809
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		2,467	2,509	2,360	2,277

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額(決算ベース)	①	6,290
令和元年度の指定管理料(委託料)	②	6,137
指定管理料の増減額	②-①	△153

※管理内容を見直ししたため、指定管理委託料が減少した。

○指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況等

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	2,075	2,290	1,200	2,371
	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,290	6,290	6,137	6,137
	その他	1,263	1,259	1,000	1,280
	合計	9,628	9,839	8,337	9,788
②支出		8,915	9,107	8,337	8,442
差引(①-②)		713	732	0	1,346

○目標達成状況

- ・少雪によりゴールデンウィークから営業を行った結果、利用者が増加したことから、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・施設内の維持管理を適切に行い、野外での交流等の場を提供することにより、市民の健康増進が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・周辺の観光スポットと連携を図り、更なる利用者の増加に取り組む必要がある。

決算書 (P274～P275)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	葛蒲高原緑地休養広場管理運営費		

【執行残額について】

- ・入札差金：入札に伴い執行残額が発生したため 17  
           需用費 (17)
- ・その他：借地契約更新に伴い賃借料の見直しをしたため 19

(単位：千円)

決算書 (P276～P277)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	やすらぎの森大島管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
235	225				9 (雑収入)	216
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	10					10

【目的】

利用者の安全と快適性の確保に努め、市民に心安らく憩いの場を提供する施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・やすらぎの森大島の維持管理及び運営

所在地	大島区大島 2099 番地
設置	平成 15 年度
施設	管理棟、トイレ、遊歩道ほか
面積	12.0ha
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	98 人	193 人	-	147 人

※越後田舎体験推進事業などでの自然観察や自然散策、環境学習等の利用者で、人数が把握できたものを実績とした。



決算書 (P276～P277)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	やすらぎの森大島管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	9	9	9
	合計	9	9	9
②支出	施設維持管理費	219	217	235
	うち委託料	203	203	210
	その他	-	-	-
	合計	219	217	235
③公費投入額 (②-①)		210	208	226
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		2,143	1,078	-
				1,469

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理を行い、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・越後田舎体験推進事業と連携して、やすらぎの森大島の魅力を発信するとともに、適切な維持管理に努めていく必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：需要費、役務費、諸資材費の実績が当初の見込みを下回ったため 10

(単位：千円)

決算書 (P 282～P 283)	7 款 1 項 2 目 商工振興費	所管課等	産業政策課
事業名	商業振興支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
68,266	66,184			3,100	6,035 (諸収入)	57,049
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,082	92	77		1,913	

## 【目的】

商工団体等が実施する賑わい創出のイベントや、地域事業者の主体的な取組への支援を通じて集客力の向上や売上の増加を図り、地域経済の活性化につなげていく。

## 令和元年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

大島やまざくら管理運営業務 4,242

## ○令和元年度目標

- ・施設利用者数 45,100 人

## ○実施内容、これまでの経過等

生鮮食品や日用品を扱うスーパーマーケットである「大島やまざくら」の運営を指定管理業務として委託するとともに、経営改善と売上の維持・確保に向けた助言を行った。

- ・指定管理者 有限会社やまざくら
- ・指定期間 平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日

## 【施設の利用実績】

## (1) 利用者数

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	46,703 人	47,489 人	45,100 人	46,722 人

決算書 (P282～P283)	7款1項2目 商工振興費	所管課等	産業政策課
事業名	商業振興支援事業		

(2) 指定管理者制度導入施設における市の収支状況 (税込)

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	大島やまざくら 管理運営委託料	4,252	4,714	3,886	3,886
	公共建築物定期 点検業務委託料	-	-	-	159
	事業用備品購入費	-	443	-	-
	営繕修繕料	-	-	-	197
	合 計	4,252	5,157	3,886	4,242
③公費投入額 (②-①)		4,252	5,157	3,886	4,242
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		91	109	86	91

(参考) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況 (税抜)

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	-	-	-	-
	大島やまざくら 管理運営委託料	3,937	4,365	3,565	3,565
	その他	59,561	60,661	60,890	58,701
	合計	63,498	65,026	64,455	62,266
②支出		62,200	63,109	64,113	61,459
差引 (①-②)		1,298	1,917	342	807

○目標達成状況

- ・施設利用者数は46,722人(計画比103.6%)と目標数に達したが、地域の人口減少及び高齢化が進んでおり、平成30年度に比べ1.6%減少した。

地域商業活性化事業補助金 26,971

○令和元年度目標

- ・補助件数：一般枠4件、特別枠12件

決算書 (P282～P283)	7款1項2目 商工振興費	所管課等	産業政策課
事業名	商業振興支援事業		

**【事業の成果】**

- ・大島やまざくらは、大島区の人口減少、高齢化等の影響により、店舗販売部門の売上は減少しているが、移動販売の売上は維持をしている。1人当たりの売上は前年比同等を維持しており、買い物困難者の利用を支援できた。
- ・地域商業活性化事業補助金の交付により、消費税率引上げに伴う消費の落ち込みに対する消費喚起や商店街の魅力発信等の取組を支援し、各店の売上増加や新規顧客の獲得、更には各地域の商業活性化に寄与することができた。
- ・地域経済活性化店舗等改装促進事業補助金の交付により、店舗の内装等の改装や事業用設備の更新等が促進され、市内施工業者の受注機会の増加にもつながった。
- ・オラレ上越の運営については、周辺地域との調和を図りつつ、円滑に行うことができた。
- ・人口の減少に伴い既存の商圈人口が減少する中、eコマースへの新規参入や既参入者が抱える課題に対応した「eコマースセミナー」を開催することにより、インターネットを活用した新たな市場開拓や販路開拓を支援することができ、また、本事業をきっかけとして設立された市内事業者で構成する任意団体が、参入事業者が抱える共通課題を解決するための勉強会を開催するなど、市内事業者が連携した自主的な自己研鑽活動につなげることができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・大島やまざくらは、大島区の人口減少、高齢化の影響を受け、売上、利用者数が減少傾向にあるが、施設利用者のニーズの把握に努め、多くの地域住民にとって利便性の高い施設運営を行っていく必要がある。
- ・地域商業活性化事業補助金は、事業実施により売上向上や新規顧客の獲得等の効果は見られるが、一過性であるものも見られることから、持続性が高い取組となるよう、効果の検証に取り組む必要がある。また、消費者の需要や消費行動の変化を的確に捉えていくよう各団体に促していく必要がある。
- ・地域経済活性化店舗等改装促進事業補助金は、経済対策として一定の効果があるものの、元年度に実施したアンケートでは、補助事業により売上が増加した事業者は2割弱にとどまったことから、店舗の改装により、店舗の魅力向上や売上につなげられるよう事業者に促していく必要がある。

**【執行残額について】**

事業費節減：独立行政法人中小企業基盤整備機構との連携による講師謝金の節減	92
事業未実施：オラレ上越設置協力事業で参加予定であったオラレマーケット中止	77
その他：地域商業活性化事業補助金の実績が見込みを下回ったため	976
事業実施に伴う執行残	937

## 出資法人等経営状況報告書

### 1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和2年8月25日	担当部署	産業観光交流部 産業政策課
-------	-----------	------	---------------

※以下は令和2年3月31日現在の内容です。

### 2 法人等の概要

法人名	有限会社 やまざくら		
代表者	取締役 岩野 虎治		
	<input type="checkbox"/> 常勤	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー
	<input type="checkbox"/> 市兼務	<input type="checkbox"/> その他	
所在地	新潟県上越市大島区大平3874番地1		
設立年月日	平成9年7月14日		
資本金	11,600千円	市出資割合	98.3%
設立目的	上越市の食料品等販売施設「大島やまざくら」の管理運営を通じ、若者を中心とする人口流出による過疎化が進む大島区において、生鮮食料品の販売を中心とした営業を展開し、住民生活の利便の向上を図る。		
主な事業	(1) 大島やまざくらの管理・運営 (2) 大島やまざくらの経営（米穀類、農産物、山菜、花卉、食料品、清涼飲料水、日用品雑貨、酒類及びたばこの販売） (3) 移動販売車による食料品等の販売		

### 3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	0	1	1	1	0	0
監査役	0	1	1	1	0	0
計	0	2	2	2	0	0

### 4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	2	2	-
その他	4	4	-
計	6	6	0

## 5 事業実績（概要）

- ・第23期（令和元年度）の売上高は61,415千円（計画63,676千円に対し2,261千円の減）、営業利益361千円（計画△267千円に対し628千円の増）、当期純利益809千円（計画322千円に対し487千円の増）でした。POSレジシステムの活用により商品仕入れの適正化に努めた結果、売上高は目標比で減少したものの、売上原価率が前期比で改善（平成30年度72.4%⇒令和元年度71.4%）した結果、売上総利益が17,579千円（計画17,503千円に対し76千円の増）となり、結果として営業利益、当期純利益も計画値を上回りました。
- ・これまで抱えていた繰越欠損金が解消され、繰越利益剰余金が704千円となりました。
- ・計画比ではプラスに転じている一方で、前期比では売上高2,716千円の減（4.2%の減）、営業利益1,315千円の減（78.5%の減）、純利益1,108千円の減（57.8%の減）となりました。
- ・毎年の売上高は季節性要因により若干の変動はあるものの、全体の傾向として大島区の人口減少を主因に売上高が減少傾向にあります。今期はこれに加え、これまで抑制していた役員報酬・従業員給与の増加及びパソコンの購入や車検等による販売費及び一般管理費の増加（前期比1,193千円の増、7.4%の増）が影響し、営業利益や純利益も減少しております。

### 【第23期（令和元年度）の営業概要】

- ・前期に継続して、従業員の計数情報の把握の強化（POSレジシステムを活用した経費削減や売上増加に関する意識付け）を行いました。

### 【売上高の実績】（税抜）

（単位：千円）

部門	第21期	第22期	第23期
	（平成29年度）	（平成30年度）	（令和元年度）
店舗	48,388	48,953	46,891
移動販売	10,274	10,812	10,959
指定管理料	3,937	4,365	3,565
合計	62,600	64,131	61,415

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

### 【利用者数の実績】

（単位：人）

部門	区分	第21期	第22期	第23期
		（平成29年度）	（平成30年度）	（令和元年度）
店舗	目標	55,000	54,000	39,500
	実績	42,496	43,213	40,956
移動販売	目標	3,100	3,100	5,600
	実績	5,600	5,641	5,766
合計	目標	58,100	57,100	45,100
	実績	48,096	48,854	46,722

## 6 財務状況(税抜)

(単位:千円)

項 目		第 21 期	第 22 期	第 23 期
		自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日	自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	62,600	64,131	61,415
	売上原価	45,282	46,429	43,836
	売上総利益	17,318	17,702	17,579
	販売費及び 一般管理費	15,223	16,025	17,218
	営業利益	2,094	1,676	361
	営業外収益	899	896	852
	営業外費用	37	28	15
	経常利益	2,956	2,545	1,198
	特別利益	0	1	1
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	2,956	2,546	1,199
	法人税等	835	629	391
	当期純利益	2,122	1,917	809
項 目		平成 30 年 3 月 31 日現在	平成 31 年 3 月 31 日現在	令和 2 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	16,245	16,133	15,154
	負 債	6,667	4,637	2,850
	純資産	9,579	11,496	12,304
	資本金	11,600	11,600	11,600
	利益剰余金	△2,021	△104	704
その他	0	0	0	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

## 7 市からの財政支出等

### (1) 委託額 (税込)

(単位：千円)

内訳		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
①	大島やまざくら 指定管理料	4,252	4,714	3,886	
②	大島ゆきわり荘 施設維持管理業務委託料	454	454	458	
計		4,706	5,168	4,344	

### (2) 財政援助額 (税込)

(単位：千円)

内訳		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
①	補助金 (助成金)	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他 ( )	0	0	0	
計		0	0	0	

## 8 今後の経営計画等

### (1) 次期事業計画

第 24 期は、売上高 62,966 千円、当期純利益 525 千円を経営目標に掲げ、次の取組を行います。

#### 1 店舗部門

- ・来店者とのコミュニケーションを強化し、地域住民の要望に迅速に対応することで、売上の増加を図る。
- ・POSレジシステムの活用により、売れ筋商品の見極め及び仕入商品の廃棄削減や死に筋商品の改善を図り、売上高の増加と原価率の引き下げを図る。

#### 2 移動販売部門

- ・店舗までの移動手段のない高齢者や身体障害者に対し、移動販売によるきめ細かな販売を行うことで、地域に親しまれる販売戦略を強化する。
- ・電話による受注配達を積極的に行う。

(税抜：単位：千円)

	店舗	移動販売	市からの委託料等	合計
第 24 期 (令和元年度)	48,106	11,040	3,820	62,966

### (2) 中長期経営計画

なし



(単位：千円)

決算書 (P290～P291)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
26,509	24,767			3,400	14,010 (使用料、財源収入、 諸収入)	7,357
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,742			642	1,100	

## 【目的】

豊かな自然と日本の原風景、そこに生きる人々の暮らしや文化をいかした「体験型観光」の受入れを推進することにより、都市部の住民と地域住民との交流を促進し、地域経済の活性化を図る。

## 令和元年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和元年度目標

- ・利用者数：4,500人（うち宿泊1,400人、日帰り3,100人）

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地	大島区田麦 1096 番地 2
設置構造	平成3年度(宿泊棟) 平成5年度(体験棟) 宿泊棟…鉄筋コンクリート造2階建て 体験棟…木造一部2階建て
施設内容	宿泊棟…客室7室、食堂、浴室2室 体験棟…広間、調理体験室、座敷、奥座敷
面積	延床 967.07 m <sup>2</sup> (宿泊棟 711.56 m <sup>2</sup> 、体験棟 255.51 m <sup>2</sup> )
管理	直営
利用形態	日帰り及び宿泊施設

## ○施設の管理実績

## ・利用者数

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			目標	実績
利用者数	4,549人	4,522人	4,500人	3,611人
うち宿泊	1,260人	1,402人	1,400人	1,235人
うち日帰り	3,289人	3,120人	3,100人	2,376人

決算書 (P290～P291)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	3,947	3,884	4,005	3,505
	その他	12,870	13,258	12,715	10,505
	合計	16,817	17,142	16,720	14,010
②支出	施設維持管理費	25,546	25,617	26,509	24,767
	うち委託料	11,768	12,338	12,252	12,217
	その他	-	-	-	-
	合計	25,546	25,617	26,509	24,767
③公費投入額 (②-①)		8,729	8,475	9,789	10,757
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		1,919	1,874	2,175	2,979

○目標達成状況

- ・利用者数は3,611人(宿泊1,235人、日帰り2,376人)であり、目標を達成できなかった。新型コロナウイルス感染症の影響に伴う3月の利用キャンセルが大きかったほか、地域の懇親会等の日帰り利用が通年で減少した。

【事業の成果】

- ・利用者数の目標は達成できなかったものの、越後田舎体験を始めとする体験型観光の団体利用は平年並みの11団体(平成30年度13団体、平成29年度11団体)あり、農業・食・工芸体験などを通じて、都市部の住民と地域住民との交流促進に寄与した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域の懇親会等の利用減少については、高齢化及び人口減少が要因と想定される。また、今後も新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用減少が想定されるため、感染症対策の徹底に取り組み、利用促進を図る。
- ・施設・設備は建設から25年以上が経過し老朽化が進んでいることから、利用者の安全や利便性に配慮しながら計画的な修繕を行い、適切な維持管理に努める。

【執行残額について】

入札差金：食堂パッケージエアコン更新修繕工事等における入札差金 642  
 そ の 他：利用者数が想定を下回ったことによる燃料費及び賄材料費等の執行残 1,100

(単位：千円)

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
417,334	403,325			143,800	138 (借入金)	259,387
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	14,009		3,590	510	9,909	

【目的】

当市を訪れる観光客に安らぎと憩いの場を提供し、市内での長期滞在を促すとともに市民との交流を促進し域内消費を拡大するなど、地域の活性化を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・休止中の施設を除く、指定管理者制度導入 15 施設の利用者数 944,996 人

<指定管理者制度導入施設 15 施設>

- ① 五智歴史の里会館
- ②～④ リフレッシュビレッジ施設 (くわどり湯ったり村、ヨーデル金谷、ゆったりの家)
- ⑤ 安塚雪だるま高原
- ⑥ 牧湯の里深山荘
- ⑦ 柿崎マリンホテルハマナス
- ⑧ 大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館
- ⑨ 吉川スカイトピア遊ランド
- ⑩ 吉川緑地等利用施設
- ⑪ 吉川ゆったりの郷
- ⑫ 板倉保養センター
- ⑬ めしんの里記念館
- ⑭ 三和ネイチャーリングホテル米本陣
- ⑮ うみてらす名立

<休止中の維持管理施設 1 施設>

- 大島あさひ荘

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	44,005
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	39,600
指定管理料の増減額	②-①	△4,405

※Jホールディングス事業子会社内で統一的な人件費の配置基準等に見直したため、指定管理料が減少した。

○指定管理者の収支状況等

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			計画	実績
①収入				
利用料金収入	530,325	540,481	544,000	504,313
うみてらす名立管理 運営委託料	40,745	40,745	36,000	36,333
新型コロナウイルス 減収補填金※	-	-	-	3,057
その他	898	1,017	-	994
②支出	569,945	582,634	578,270	551,983
差引 (①-②)	2,023	△391	1,730	△7,286

※金額は全て税抜き

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

<大島あさひ荘>

○実施内容、これまでの経過等

- ・指定管理者の経営破綻により平成24年3月1日から平成25年6月30日まで休館
- ・平成25年7月1日から新たな指定管理者を指定し、宿泊部門を除いて営業を再開したが、平成26年12月をもって指定管理者の指定を取り消し、平成27年1月から休止
- ・施設休止後、必要な管理を行い、施設の維持保全に努めた。

○施設の管理実績

- ・施設における市の収支状況

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			予算	実績
①収入	-	-	-	-
②支出				
修繕料	68	-	-	-
大島あさひ荘 管理運営委託料	494	651	243	8
その他	138	24	532	523
合計	700	675	775	531
③公費投入額 (②-①)	700	675	775	531
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	-	-	-	-